

# THANKS

(VOL. 218)

BUSINESS NEWS LETTER

発行日：平成27年8月1日  
発行者：有限会社サクスマインドコンサルティング  
連絡先：〒359-0043  
埼玉県所沢市弥生町1792-10  
TEL:04-2907-1715  
E-MAIL：[info@thanksmind.co.jp](mailto:info@thanksmind.co.jp)  
<http://www.thanksmind.co.jp>

## 特集

### 「資金繰りとキャッシュフロー①」・・・黒字倒産はなぜ起こる？

社会貢献、社員の幸せ、株主への還元等、会社の目的を果たすためには、しっかり利益を確保することが必要です。

しかしながら・・・

利益を出しながらも倒産してしまう会社があります。

それが、いわゆる「黒字倒産」。

企業の存続のためには、確かに利益は必要ですが、それとともに重要なのが資金繰りです。

ということで・・・

今回から、「資金繰りとキャッシュフロー」というテーマで特集を始めます。

### 身近な事例で考えてみよう！

#### 質問1

8月31日に、あなたは、香港に買い物に行きました。手元には60万円持っています。

9月1日に、1本30万円のロレックスをクレジットカードで5本買いました。

9月15日に、帰国して友人5人に1本50万円で現金（即金）で販売しました。

9月30日に、クレジットカードの引き落としがありました。

さて、この場合の「売上」「売上原価」「売上総利益」はいくらでしょうか？

売上高	250万円	(50万円×5本)
売上原価	150万円	(30万円×5本)
売上総利益	100万円	

さて、ここで別の切り口で考えてみましょう。

あなたが香港に持っていった60万円は、あなたの全財産です。

上記の商売をする中で、入金があったり、出金があったりするでしょう。

実際に手元のお金（持ち金）が変わるのは、いつ、いくらでしょうか？

		<u>持ち金</u>		
8月31日			60万円	
9月15日	入金	250万円	310万円	・・・販売した代金
9月30日	出金	150万円	160万円	・・・クレジットカードの引き落とし

以上ようになります。

9月1日は、クレジットカードで購入しているので、実際に出金するのは9月30日です。

この取引は、全く問題がありません。

利益もしっかりでているし、また、持ち金も常にプラスです。

## 質問2

次の質問です。

8月31日に、あなたは、香港に買い物に行きました。手元には60万円持っています。

9月1日に、1本30万円のロレックスをクレジットカードで5本買いました。

9月15日に、帰国して友人にPRしたところ、1本だけが50万円で現金（即金）で販売できました。（ただし、残り4本は、まだ手元にあります）

9月30日に、クレジットカードの引き落としがありました。

さて、この場合の「売上」「売上原価」「売上総利益」はいくらでしょうか？

売上高	50万円	(50万円×1本)
売上原価	30万円	(30万円×1本)
売上総利益	20万円	

ここで、注意しなければならないのは売上原価。

売上原価とは、「販売した商品の仕入や製造に要した費用」であり、「販売した」がポイントです。

今回の場合、仕入れたのは5本ですが、販売したのは1本ですので、原価は1本分のみ。

すなわち30万円です。

※この点については、本誌の175号で詳細に説明していますので、「あれ？」と思われる方は、以下のサイトを参照ください。

<http://www.thanksmind.co.jp/no175.pdf>

次に、質問1と同様に、お金の出入りを考えてみましょう。

実際に手元のお金（持ち金）が変わるのは、いつ、いくらでしょうか？

		<u>持ち金</u>		
8月31日			60万円	
9月15日	入金	50万円	110万円	・・・販売した代金
9月30日	出金	150万円	△40万円	・・・クレジットカードの引き落とし

9月30日には、お金が不足してしまいます。

マズイですね。

会社で言えば、これが「倒産」。

「倒産」とは、払うべきお金が払えなくなってしまった状態です。

今回のケースの倒産原因は、いわゆる「過剰在庫」です。  
 5本売れると思って買ってきたのに、実際に売れたのは1本のみ。  
 4本も売れ残ってしまいました。  
 上述の通り、損益計算書の売上原価は、「販売した商品の仕入」しか計上しませんので、一応は20万円の黒字です。  
 しかしながら、実際のお金の出入りは別問題。  
 売れようが、売れまいが、仕入先にはお金を払わなければなりません。  
 その結果、今回のように払うべきお金が不足してしまうことがあります。

それでは、倒産を回避するためには、どうしたら良いのでしょうか？  
 「売れ残っている商品を安く売る！」  
 確かにそれもひとつの方法です。  
 しかしながら、誰も、買ってくれなかったら？  
 こういう時に頼りになるのが銀行です。  
 お金を貸してもらいましょう。

		持ち金		
8月31日			60万円	
9月15日	入金	50万円	110万円	・・・販売した代金
9月29日	入金	40万円	150万円	・・・銀行からの借り入れ
9月30日	出金	150万円	0万円	・・・クレジットカードの引き落とし

何とか倒産を免れました。  
 実はこれが「資金繰り」です。  
 「資金繰り」とは、会社の入出金をしっかり管理して、常に払うべきお金を払える状態にしておくこと。  
 これは、会社を経営する上で、利益の確保とは別の極めて重要なテーマです。

### 質問3

次の質問です。  
 8月31日に、あなたは、香港に買い物に行きました。手元には60万円持っています。  
 9月1日に、1本30万円のロレックスをクレジットカードで5本買いました。  
 9月15日に、帰国して友人にPRしたところ、5人に1本50万円で販売することができました。  
 但し今回は、ツケ払いで入金は10月10日になります。  
 9月30日に、クレジットカードの引き落としがありました。

さて、この場合の「売上」「売上原価」「売上総利益」はいくらでしょうか？

売上高	250万円	(50万円×5本)
売上原価	150万円	(30万円×5本)
売上総利益	100万円	

損益計算書では、100万円の大儲けです。

それでは、お金の出入りはどうなるでしょうか？

		持ち金	
8月31日		60万円	
9月30日	出金 150万円	△90万円	・・・クレジットカードの引き落とし

これまた、倒産してしまいました。  
今回の原因は、運転資金の不足です。  
仕入れてから販売したり、製造してから販売したり・・・  
ほとんどの会社は、先にお金が出て行き、後からお金が入ってきます。  
その入出金のタイムラグを埋めるために必要になるのが、いわゆる「運転資金」。  
これが不足してしまうと、今回のように倒産してしまいます。

質問2と同様、資金繰りをしてみましょう。

		持ち金	
8月31日		60万円	
9月29日	入金 90万円	150万円	・・・借入れ
9月30日	出金 150万円	0万円	・・・クレジットカードの引き落とし
10月10日	入金 250万円	250万円	・・・販売した代金（ツケの回収）
10月29日	出金 100万円	150万円	・・・借入の返済

9月29日に90万円借入しましたので、何とか倒産は回避できました。  
その後、10月10日にツケの回収ができて、ようやく一息。  
しかし、本当はこれでは終わりません。  
借りたお金は、返済しなければなりませんから。  
ちなみに、今回の借入先は、極悪非道の金融ブローカー。  
たった1ヵ月しか借りていないのに、怖いお兄さんが「元金含めて100万円払え！」と脅してきました。  
仕方がなく支払ったあなた。  
それでも、お金は残っています。  
ちなみに、100万円の中の10万円は「利息」ですので、一般的には営業外費用として計上することにしてしまおう。  
そうすると、以下の通り、利益は10万円減少します。

売上高	250万円	(50万円×5本)
売上原価	150万円	(30万円×5本)
売上総利益	100万円	
営業外費用	10万円	利息分
経常利益	90万円	

質問2も質問3も、損益計算書は黒字なのに倒産したパターン。  
いわゆる「黒字倒産」です。  
利益の確保と、資金繰りの重要性は別物ということを理解してください。

<次回に続く>